

私は、陳情第1号加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める陳情に賛成の立場で討論します。

加齢性難聴は、コミュニケーションを困難にするなど、日常生活を不便にし、生活の質を落とす大きな原因となり、最近では鬱病や認知症の危険因子になることも指摘されています。

コミュニケーションが減少し、会話しないことで脳に入ってくる情報が少なくなることが脳の機能低下につながり、鬱病や認知症につながるのではないかと考えられています。この聞こえの悪さをなくし、音や言葉を聞き取れるようにし、日常生活を快適に過ごすことができるよう補完するのが補聴器です。

耳が聞こえにくい、聞こえないということが高齢者の社会参加や再雇用などの大きな障害となっています。高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができれば、認知症の予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制にもつながります。

近年、加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設する自治体も増えています。

以上のことから陳情第1号加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める陳情について賛成討論とします。